

会 議 録

審議会の名称	令和4年 第1回桶川市公共下水道事業審議会
事務局	都市整備部下水道課
開催日時	令和4年1月31日(月) 9:30~12:00
開催場所	桶川公民館 3階 大集会室
出席者氏名 (委員)	■1号委員: 作山 康・白根 勉・檀原 武 ■2号委員: 糸井 政樹・仲又 清美 ■3号委員: 木村 良雄 ■4号委員: 小川 圭一・木村 尚之・田中二三子 吉田 洋子 (各号委員ごとにアイウエオ順)
欠席者氏名 (委員)	なし
事務局職員	都市整備部: 沖田部長 瀧本副部長 中村副参事 下水道課: 稲橋副参事兼下水道課長 飯島副課長 山村係長 深井主任 玉置技師
会議の公開	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 不可
傍聴者数	0人
議 題	1 桶川市公共下水道事業審議会スケジュール 2 下水道の歴史としくみ 3 下水道事業の現状と課題
決定事項	1 会長・副会長の選出 会長: 作山委員、副会長: 檀原委員に決定

審議会経過

発言者	発言内容
事務局	<p>1. 開会</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から「令和4年第1回桶川市公共下水道事業審議会」を開会いたします。</p> <p>私は、司会を担当させていただきます下水道課の飯島と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染防止の対策を取らせていただきながら、会議を進めさせていただきます。</p> <p>また、当下水道審議会は、令和3年9月議会で条例が制定されて、本日が第1回目の審議会ということになります。事務局側も初めてで、至らぬ点もあるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【資料の確認】</p> <p>それでは、次第により進めてまいります。</p>
事務局	<p>2. 委嘱状交付</p> <p>次第2「委嘱状交付」でございます。</p> <p style="text-align: center;">【小野市長より各委員へ委嘱状を交付】</p>
事務局	<p>3. 市長あいさつ</p> <p>続きまして、次第3「市長あいさつ」でございます。</p>
市長	<p>【市長あいさつ】</p> <p>皆様おはようございます。桶川市公共下水道事業審議会の開催にあたり、ごあいさつを申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、公私ともにご多用のところ、本審議会委員をお引き受けいただき、深く感謝申し上げます。また、日頃から市政運営に対しまして、ご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数が、連日、過去最多を更新し、市内においても、日々、多くの陽性者が確認されております。本日はコロナ禍ではございますが、感染対策を十分に行ったうえで開</p>

	<p>催させていただきますので、皆様には忌憚のない闊達なご審議を賜ればと思います。</p> <p>さて、こうした状況の中ではございますが、桶川市では、駅東口整備事業者や企業誘致事業、道の駅整備事業等、都市基盤の整備や産業振興をはじめ、明るい未来に向けた「持続可能なまちづくり」を着々と進めております。</p> <p>そうした都市基盤整備の一翼を担う公共下水道事業でございますが、当市の下水道は、昭和48年以来整備を進めて参りまして、間もなく整備開始から約50年を迎えます。</p> <p>当市における下水道整備率は、令和3年4月1日現在で「96.9%」となっております。整備率の向上により、汚水管の新規整備が終盤に差し掛かり、今後は、人口減少等に伴う収入の低下並びに、老朽化した施設の更新に伴う事業費の増加という課題を解決しながら、持続可能な事業として運営していかなければなりません。</p> <p>今回、委員の皆様におかれましては、この様な現状を踏まえていただいたうえで、今後の安定的な下水道事業の運営に向けたご審議をいただきたいと存じます。</p> <p>なお、詳細につきましては、この後事務局より説明させていただきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>結びにあたり、コロナ禍で大変な状況ではありますが、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、甚だ簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。</p>
事務局	<p>4. 委員・事務局の紹介</p> <p>次に、次第4「委員・事務局の紹介」に移らせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【委員自己紹介】</p> <p>続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【事務局自己紹介】</p>
事務局	<p>5. 会長・副会長の選出</p> <p>続きまして、次第5「会長・副会長」の選出に移らせていただきます。</p> <p>会長・副会長については、審議会条例第4条の規定では委員の互選により決定することとなっております。委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【会長に作山委員、副会長に檀原委員が選出】</p>

事務局	<p>5 会長・副会長あいさつ</p> <p>それでは、次第 5「会長・副会長のあいさつ」に移らせていただきます。</p>
会長	<p>【会長あいさつ】</p> <p>みなさま、こんにちは。 このたび、会長に就任させていただきました。 下水道は重要なインフラであり、人間に例えると循環器系の静脈にあたり、水道のような動脈の重要性は認識されているものの廃棄物を集める静脈がないと生きられないと同様に、下水道がないと生活できないものです。 私は、他の自治体の下水道審議会の委員をいくつか関わっていますが、それぞれ課題は自治体により異なるものの、共通しているのは人口集中時に集中投資をして、今後更新費用が同様に集中し、さらに人口が減少していく時代に、生活の中で洗濯機やトイレをはじめ節水の仕組みが向上して世帯当たりの水道使用量が減少して、全体として下水道需要が減少していくために収入が減ってしまうなど、どこの自治体も下水道事業の経営が大変だということです。 そのような中で 40 年間下水道料金を値上げしていない桶川市では、今後の更新や人口減少を踏まえた新しい下水道事業の在り方を探る必要があります。 委員の皆様のご協力のもとにしっかり議論して審議していきたいと思えます。 どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。 続きまして、檀原副会長よりご挨拶をお願いします。</p>
副会長	<p>【副会長あいさつ】</p> <p>みなさま、こんにちは。 このたび、副会長に就任させていただきました。 私は、特に下水道事業に詳しい訳ではございません。ですが、皆様と一緒に勉強しながら精いっぱい勤めさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。 どうぞよろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">【公務の都合により市長退席】</p>

事務局	<p>それでは、議題に入らせていただきたいと思います。</p> <p>審議会条例第5条第2項の規定では、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とされております。</p> <p>本日は、全委員10名全員にご出席いただいておりますので、本会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>なお、審議会条例第5条第1項の規定に基づきまして、ここからは作山会長が議長として進行をお願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、議長として進行を務めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様、ご協力をお願いいたします。着座にて進行させていただきます。</p>
会長	<p>まず初めに皆様にお諮りします。本審議会は、条例第5条により原則公開となっております。会議の進行に著しい支障が生じることが明らかであると審議会が認めるときは、この限りではないとなっております。本日の審議会は、公開ということによろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員了承】</p> <p>ご異議がないようですので、本審議会は公開とすることに決しました。</p>
会長	<p>次に傍聴人について、事務局より報告をお願いいたします。</p>
事務局	<p>審議会条例第5条第4項に規定する傍聴人はございません。</p>
会長	<p>傍聴人がいないということですので、議題に入りたいと思います。</p>
会長	<p>6. 議題等</p> <p>それでは、次第6「議題等」に順次入らせていただきたいと思います。</p> <p>はじめに議題等の(1)「桶川市公共下水道事業審議会スケジュール」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の制度とその役割について説明 ・ ③「桶川市公共下水道事業審議会スケジュール(案)」の資料に基づき今後のスケジュールについて説明

<p>会長</p>	<p>事務局から、審議会のスケジュールについて説明がありました。皆さんも予定等あるかと思いますが、この案のとおりでよろしいでしょうか。何か質問はありますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【委員了承】</p> <p>質問はありますか。 無いようですので、議題等の（２）「下水道の歴史としくみ」に移りたいと思います。事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の審議会は第１回目であることや、審議内容が普段目立たない下水道事業という専門的な分野でございますことから、下水道の歴史、役割と仕組み、事業内容や現状と課題などについて、皆様のご理解を深めていただきたいと考えております。ビデオやスライドを用いまして、分りやすさに心がけて説明させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【「下水道の歴史」ビデオ上映】</p> <p style="text-align: center;">【「まちをきれいにせいけつに」ビデオ上映】</p> <p style="text-align: center;">【「下水処理のしくみ」ビデオ上映】</p> <p style="text-align: center;">【④下水道について「水循環と下水道」の資料を基に補足説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまのビデオや説明に関しまして、ご質問などがある方は挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【質疑なし】</p> <p>勉強する資料が多いようですので、続けて次の説明に移りたいと思います。 事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">【管渠・ポンプ場・終末処理場についてスライドを使用し説明】</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの説明に関しまして、ご質問などがある方は挙手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【質疑応答】</p> <p>委員</p> <p>下水道料金等は桶川北本水道企業団へ委託しているということですか。桶川市は桶川市、北本市は北本市と別々ではやらないで、共同でお願いしているということでしょうか。</p>

事務局	<p>桶川北本水道企業団と北本市と桶川市と3団体で協定を結んでおり、その協定を基に共同徴収ということで、徴収事務を水道企業団が行なっています。事務の内容としては水道料金の徴収事務と同時に桶川市の下水道料金と北本市の下水道料金を一緒に徴収するものです。</p> <p>下水道料金は使った水道の量で計算する仕組みになっています。水道の検針の際に下水道料金が確定しますので上水道料金と下水道料金を一緒に徴収し、桶川市の下水道使用料の分だけ桶川市に振込みしていただいております。</p> <p>人件費やシステム等を個別に設けずに済むという大きなメリットがございます。</p>
委員	<p>はい。わかりました。</p> <p>もうひとつ質問です。下水道本管は現在プラスチックを使っているということですが、昔は鉄管でかなり耐用年数が短く、今後プラスチックにすると耐用年数がかなり伸びるのでしょうか。</p>
事務局	<p>下水道を始めた昭和40年代頃はプラスチック製品がほとんど普及していませんでした。コンクリート管もしくは、土管といまして陶管いわゆるセラミックのお茶碗みたいな管の2種類が主流でした。</p> <p>下水道の中には硫化水素が発生することが多々あります。その成分に侵されてコンクリートがボロボロになるという現象が起こることがわかってきて、今はほとんどがプラスチックになっています。</p> <p>コンクリート管は標準耐用年数50年、塩ビ管も一応50年と言われていますが、発売されてから50年は経っていません。</p> <p>仙台市が調査したところ塩ビ管は70年から100年も持つ可能性があるとのことです。かつ軽量で加工性も良く耐久性もあるということでこのプラスチックの管がほぼ主流となっております。</p>
委員	<p>経費もかなり低めにできるという状況になってきているということですね。わかりました。</p>
会長	<p>ほかにいかがでしょうか。</p>
委員	<p>丁寧なご説明ありがとうございます。</p> <p>最初の資料（下水道について「水循環と下水道」）の13ページですが衛生面と浸水対策と環境保全というところで質問しようと思っていたのですが、説明でよくわかりました。</p> <p>今、災害の激甚化が進んでいまして、環境面とか微生物を使って水をきれいにするとかいうのは進んでいると思います。</p> <p>今後、洪水雨水対策というものはどういものが中心に考えられるのか教えてほしいのがひとつです。</p> <p>あと、24ページで分流式を桶川市は採用しているとのことですが、この汚水管と雨水管は簡単に言えば下水道料金みたいなものは個</p>

<p>事務局</p>	<p>人が両方支払っているのかどうか教えてください。</p> <p>激甚化する雨水対策は国も対策を進めていますが、そもそも雨水管の整備が始まったのが昭和48年です。桶川市は当時埼玉県で一番厳しい1時間当たり48ミリの雨に対応できる管渠整備を始めました。現在の洪水対策としては難しいものになりますが、元から雨水管を全てやり直すのかという問題があります。</p> <p>最近言われているものとして地下貯留施設を新たに設けることを下水道事業でやるという話もあります。</p> <p>また、管ではない都市下水路という川のような下水道施設があるのですが、そちらの方の浚渫は令和5年に予定しております。川の底に泥が溜まって流れが悪くなるものを取って流れをよくする事業を考えております。</p> <p>現在は汚水整備にかなり力を入れておりまして、もう少しで終了しますのでその後、雨水整備を主として実施していきたいと考えています。</p> <p>2つ目の質問の雨水管と汚水管を入れた場合の費用負担ですが、下水道の仕組みとしては雨水公費汚水私費の原則があります。雨は空から降ってきて誰の責任でもないので100パーセント市の税金で賄い、汚水は個人が流すから100パーセント個人が支払うことになっています。ですから受益者負担金は汚水管のみに対しての負担金で雨水管は全て公費となっております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>数年前の台風19号ときだったと思います。大雨が降ったときに私が住んでいる末広地区で、1丁目の道路から水柱が立つほど水が溢れてプールのような状態になりました。また、翌日2丁目で同じような現象が起きました。市の担当課の方と連絡をとって水道の関係の方に来てもらい原因を調べてもらったが、どこからお水が出てきているかわかりませんでした。市民より自分のおうちの水道管に問題があって水道料金が高額になってしまうかもと個人的な意見をいただいたことがあります。</p> <p>後々聞いてみると水害・大雨ということが原因だったのでしょうか。集中的に雨水が溜まって古かった管にひびが入ったということですか。今、塩ビ管に替えていっているということですが桶川市がどれくらい替えていくのか、替えていっているのに関わらずこういうことが起こるのか、それとも変えていない管が原因でそうなっているのか教えていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>水が噴いたのは上水でなく汚水です。極端な大雨のときに不明水が汚水管に流入する場合があります。雨水は雨水管なり都市下水路で受</p>

<p>委員</p> <p>会長</p>	<p>けるのですが受けきれないものや、道路上から宅地内へ入った水がどうしても污水管の中にしみ込んでしまう現象があります。構造上やむを得ないのですがマンホールや柵などには、少しずつ隙間がありそこから雨水が入ってきてしまいます。污水管は小さい管のため上から被圧されて一番弱いマンホール蓋のところで噴出してしまうという現象が起こります。</p> <p>末広地区は芝川都市下水路が未完成です。芝川都市下水路が完成したらなくなると思うのですが、現在暫定断面で水を流しておりますことから、そういう現象が起こると考えております。</p> <p>これから污水管の新設が終わりまして、更新や長寿命化を進めて行く中で雨水や浸水対策も含めてやっていく予定です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>時間もありますので、あと残りひとつ、議題等の（３）「下水道事業の現状と課題」の説明を受けてから全体の質問を受けたいと思います。</p> <p>私の住んでいる戸田市は早くから整備したので半分合流式です。実は県内のほとんどは１時間あたり約５０ミリを想定して工事をしています。ゲリラ豪雨は１時間も続きませんが、６０ミリとか７０ミリの凄い雨で下水が吹き出します。だから私の住んでいるエリアは汚いというか、分流に変えた方がいいと思いますが、財政的に余裕のある戸田市でさえ全部分流式には替えられません。ものすごいお金がかかるからです。だから合流のまま対策を立てています。だから自治体によって悩みが違うのだと思います。</p> <p>それでは議題等の（３）「下水道事業の現状と課題」の説明事務局からお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥「地方公営企業法適用の意義」の資料に基づき説明 主な内容…公共下水道事業は、経営の見える化へ ・⑦「経営戦略の策定・改定について」の資料に基づき説明 主な内容…経営戦略とは、中長期的な収支均衡計画 ・⑧「桶川市公共下水道事業経営戦略」の資料に基づき説明 主な内容…桶川市の現状、将来の予測、経営の課題 ・⑨「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進についての留意事項 他」の資料に基づき説明 主な内容…桶川市は、補助金の重点配分条件を満たしていない

会長

ありがとうございました。

今日は現状と課題の認識ということで何かを決めるわけではありません。

下水道は一般の市民の方や僕らも含めてあまり認識がありません。これから少しずつ勉強したいなと思っています。

別の話ですけど、この手の話はたくさんありまして、私の住んでいるマンションも修繕積立と管理費を値上げしないともう持たないことがだんだん分かってきますよね。

まさにインフラは街づくり。都市計画から始まっていて、明治時代から始まったのですが、最初は衛生工学から始まりまして。コレラが江戸末期に流行して下水から始めたのです。道路じゃないです下水から先につくったのです。

今日勉強したように（桶川市公共下水道事業経営戦略）21ページにあるように近隣市でどうしても比べてしまうのですが、上水道と下水道がセットで請求がきますが、全国で値段が全然違います。

例えば夕張だとちょっとつぶれそうだったので、3倍くらい違うのですね。夕張で下水だと5,100円、上水が6,800円しますから月12,000円するのですよ。2か月ごとにくるから24,000円です。

新潟の佐渡市も4番目か5番目くらいに高くて下水だけで4,300円くらい、上水も4,500円くらいで上水合わせて8,800円くらいします。

水道代も結構違って両方来ると桶川市と2倍も3倍も違います。ただ、桶川市の場合、40年間上げてないっていうのもちょっと何でしょうね。あげたくないですよ。

でも、40年間ずっと放っというて、毎年3億円一般会計から入っているわけですから。今日のシミュレーションでもあるように放っていたら大変です。改善しても2億いくらがゼロにはならない。

国が言っている3,300円のケースでさえそうですよ。もちろんもっと上げるというのものもあるけど急激にあげられるかというのがありますけどね。

認識が改めてわかったというところでしょうか。

以上の説明でご意見ご質問あればどうぞ

今年あと4回、それで間に合わなければあと5回やっというと思っています。この辺の話をどのように議論できるのかわかりませんが一緒に勉強していきたいなと思います。

他に何かありますか。

無いようでしたら全体を通してのご質問は何かありますか。

よろしいですか。

【質問なし】

会長	ご質問もないようなので、これで本日の会議を終了といたします。議事録を作成するにあたり、内容の確認はどうしますか。事務局から何か提案はありますか。
事務局	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用した資料と会議録は、市のホームページに掲載する旨の説明 ・市民の皆様には伝わるようにすることを重視しつつ、簡潔明瞭にまとめる旨の説明 ・各回の審議会終了後に、事務局が作成しました議事録（案）を委員名簿で上から順番に、2人にご確認いただくことの提案
会長	皆様、議事録については、事務局の提案のとおりでよろしいでしょうか。
委員	【委員了承】
会長	<p>それでは、事務局が議事録（案）を作成したのち、委員2名で確認するものとします。</p> <p>本日は、長時間にわたり、ありがとうございました。</p> <p>これを持ちまして、議長職を解かさせていただきます。</p>
事務局	<p>7. 連絡事項</p> <p>【⑩の「下水道のひみつ」の資料紹介】</p>
事務局	<p>8. 閉会</p> <p>以上を持ちまして本日の桶川市公共下水道事業審議会を閉会いたします。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。</p>

以上